

労働者党は、19参院選に向けて

以下の政治路線と政策で闘います！

労働の解放
をめざす
労働者党

wpll-j.org

① 長時間労働と

差別労働の一扫を！

労働者党は、労働現場の過酷な実態の解決なしには労働者の明るい未来はないと訴えてきました。その一つは、長時間労働やブラック企業に代表される搾取労働の即時廃止の要求です。二つには、二千万人にも急増した非正規労働者や女性労働者を苦しめる差別待遇の即時一扫の要求です。こうした要求は、安倍首相自身が「働き方改革」を謳い、同一労働同一賃金を実現すると公約した際に「差別の解消は待ったなしの重要課題だ」「日本から非正規労働という言葉を一扫する」と約束したことです。

ところが今では安倍首相は

「多様な働き方」などを持ち出し、長時間労働や差別待遇は労働者の選択の問題であって企業による強制ではないと自分の約束をごまかすばかりです。他方の野党も「賃上げで景気回復を」などの外れなことを言って、労働者の切実な生活改善の要求は置き去りのままです。

国の最高責任者が平気で約束破りをするからこそ、この国の官僚や企業にモラルハザードが蔓延するのです。安倍首相がなすべきことは、低賃金や長時間労働、あらゆる差別や劣悪な労働条件を一扫するといふ自分の約束を直ちに実行することだけです。

また安倍政権は、外国人を単純労働者として大量に導入できるように法改正を行いま

した。「人手不足」ならば安い外国人を雇えばよいではないかと、民族主義丸出しで劣悪な労働条件を外国人労働者に押しつけるのです。それでは外国人労働者との「共生」どころか彼らへの差別を助長し、社会の歪みをいっそう拡大するだけです。私たちは、同じ仲間として外国人労働者への差別のない同一待遇を要求します。

② バブルのない経済と

借金のない財政を！

安倍政権は「異次元の」金融緩和を看板に日銀から大量のマネをバラまくことで低金利・ゼロ金利や円安誘導を行い、また赤字財政をいっそう膨張させました。地価や株

を水膨れさせただけのアベノミクスのもとで、一部の企業や金持ちは肥え太りしましたが、労働者は実質賃金の目減りとともに国民一人当たり900万円弱もの国の借金を抱え込むことになりました。(4人家族でなんと約3500万円！ これはまさに破産状態です)

しかし安倍政権は「全世界型の社会保障」を謳うことで、社会保障とは何の関係もない「幼児教育の無償化」といった人気取りのために、マネをバラまき続けています。このまま財政や経済がおかしくなり、社会保障が崩壊していけば、労働者や高齢者など、弱い立場の人々の生活はたちまちのうちに恐るべき危機にさらされるばかりではありません。私たちは、安倍